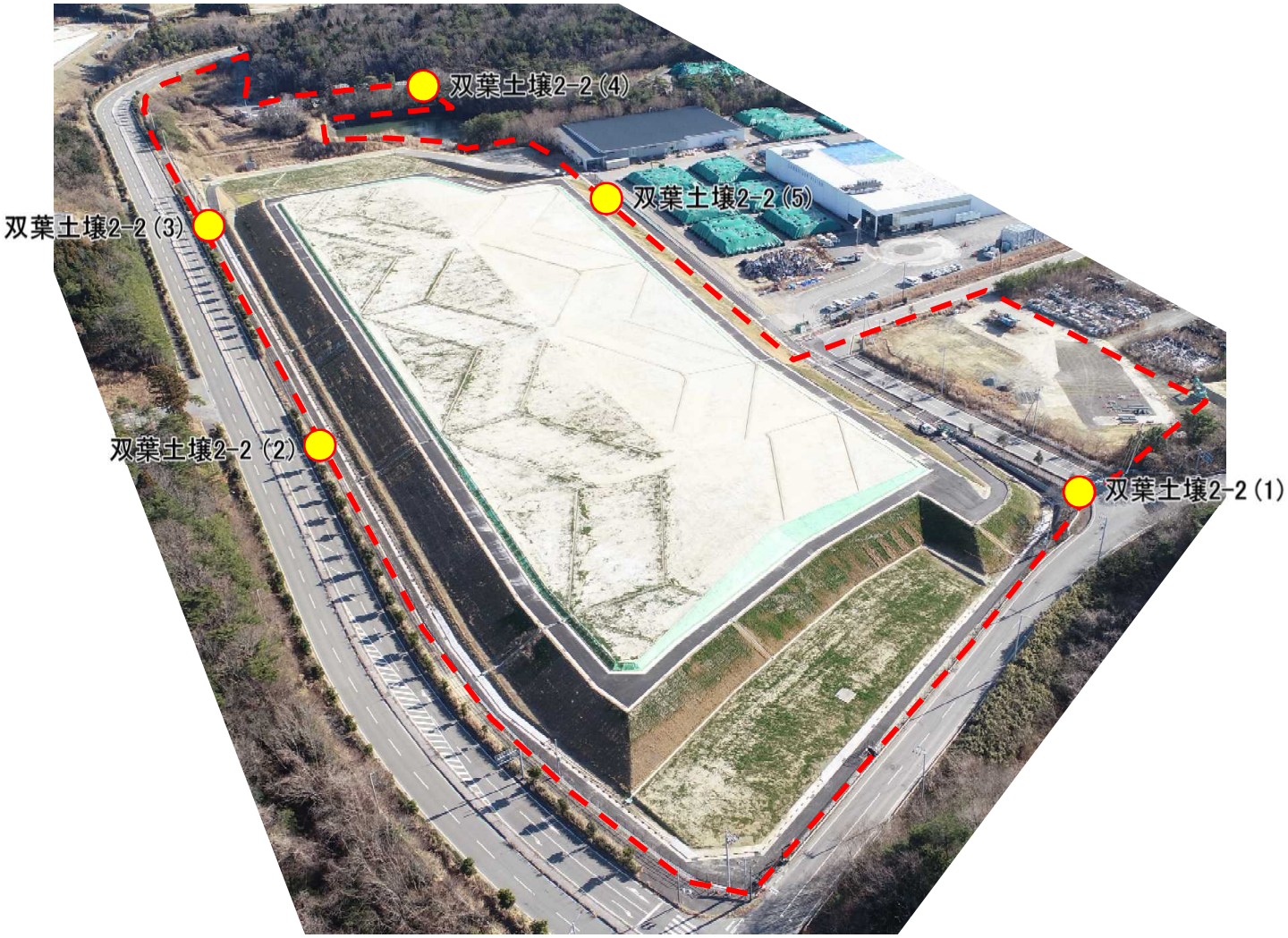
土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
空間線量率の測定地点（月次測定）＜貯蔵中＞



☆：施設の位置

【凡例】
空間線量率測定地点

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
空間線量率の測定結果（月次測定）

＜空間線量率＞

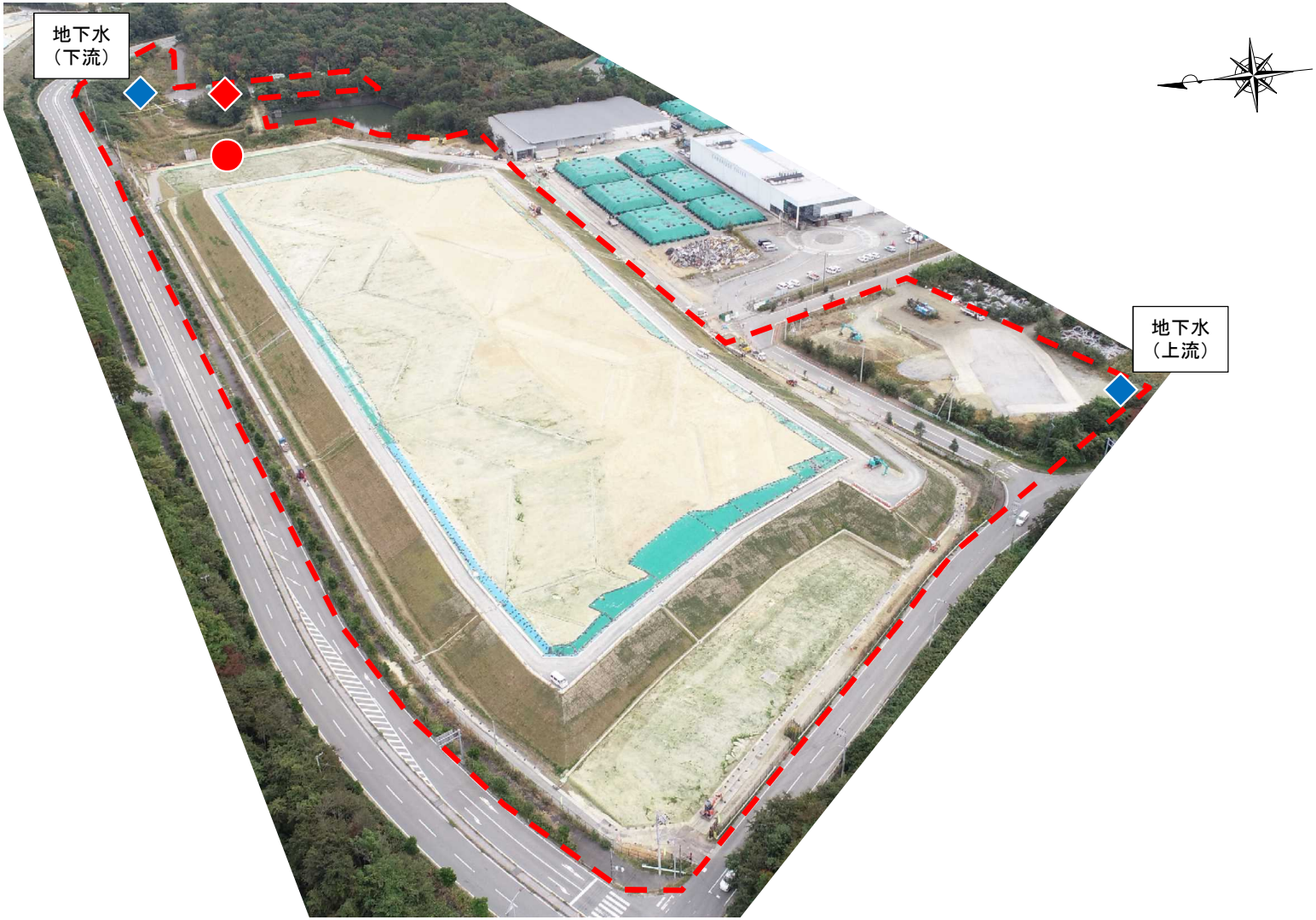
［μSv/h］

地点 / 日付	双葉土壌2-2(1)	双葉土壌2-2(2)	双葉土壌2-2(3)	双葉土壌2-2(4)	双葉土壌2-2(5)
（工事前　2018年3月15日）	2.73	3.20	2.04	2.02	4.53
（貯蔵前　2019年5月13日）	1.91	0.92	1.10	0.96	0.27
2023年3月7日	1.56	0.74	0.75	0.75	0.23

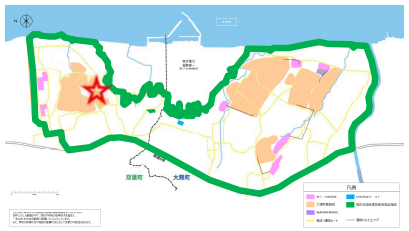
凡例　　工事前：施設造成工事開始前　　貯蔵前：施設完成後、分別土壌搬入前

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境測定地点（月次測定）＜貯蔵中＞①

（4頁参照）■



☆：施設の位置



【 凡例 】

◆：地下水（井戸）中の電気伝導率等、放射能濃度

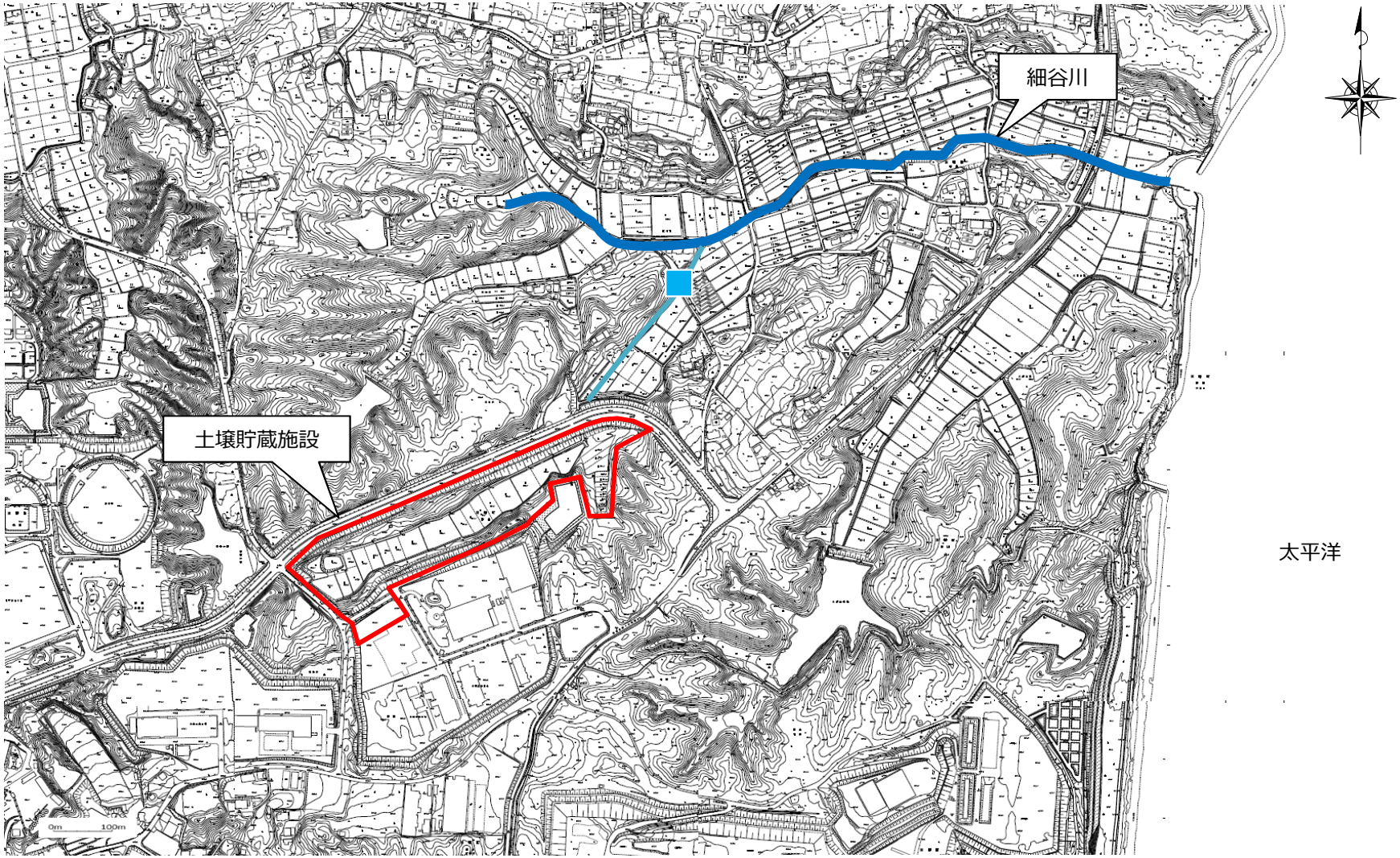
●：地下水（集排水設備）中の放射能濃度

◆：浸出水処理施設放流水の放射能濃度等

■：放流先河川の放射能濃度

---：敷地境界線

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境測定地点（月次測定）　＜貯蔵中＞ ②



凡例

■ :河川水観測地点

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境測定結果（月次測定）2023年3月

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/5/8 （稼働前）	61
	2023/3/6 （貯蔵中）	48
下流	2019/5/8 （稼働前）	18
	2023/3/6 （貯蔵中）	24

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	8.0
	2023/3/6 （貯蔵中）	9.6
下流	2019/5/8 （稼働前）	10
	2023/3/6 （貯蔵中）	11

◆地下水（井戸）中の放射能濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2023/3/6 （貯蔵中）	ND	ND
下流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2023/3/6 （貯蔵中）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/21 （稼働前）	ND	ND
2023/3/22 （貯蔵中）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日 ＼ 測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2023/3/15	7.8	5.2	45	1.2

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD管理値：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2023/3/1	ND	ND
2023/3/8	ND	ND
2023/3/15	ND	ND
2023/3/22	ND	ND
2023/3/29	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m^3)
		最小値	最大値		
2023/3/8 ～2023/3/29	9	0.0	0.0	ND	256.8

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 （稼働前）	ND	ND
2023/3/6 （貯蔵中）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境測定結果（月次測定）2023年2月

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/5/8 （稼働前）	61
	2023/2/8 （貯蔵中）	49
下流	2019/5/8 （稼働前）	18
	2023/2/8 （貯蔵中）	21

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	8.0
	2023/2/8 （貯蔵中）	10
下流	2019/5/8 （稼働前）	10
	2023/2/8 （貯蔵中）	12

◆地下水（井戸）中の放射能濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2023/2/8 （貯蔵中）	ND	ND
下流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2023/2/8 （貯蔵中）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/21 （稼働前）	ND	ND
2023/2/15 （貯蔵中）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日 ＼ 測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2023/2/15	7.7	4.7	36	4.5

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD管理値：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2023/2/1	ND	ND
2023/2/8	ND	ND
2023/2/15	ND	ND
2023/2/22	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m^3)
		最小値	最大値		
2023/2/1 ～2023/2/24	21	0.0	0.0	ND	580.9

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 （稼働前）	ND	ND
2023/2/8 （貯蔵中）	ND	ND

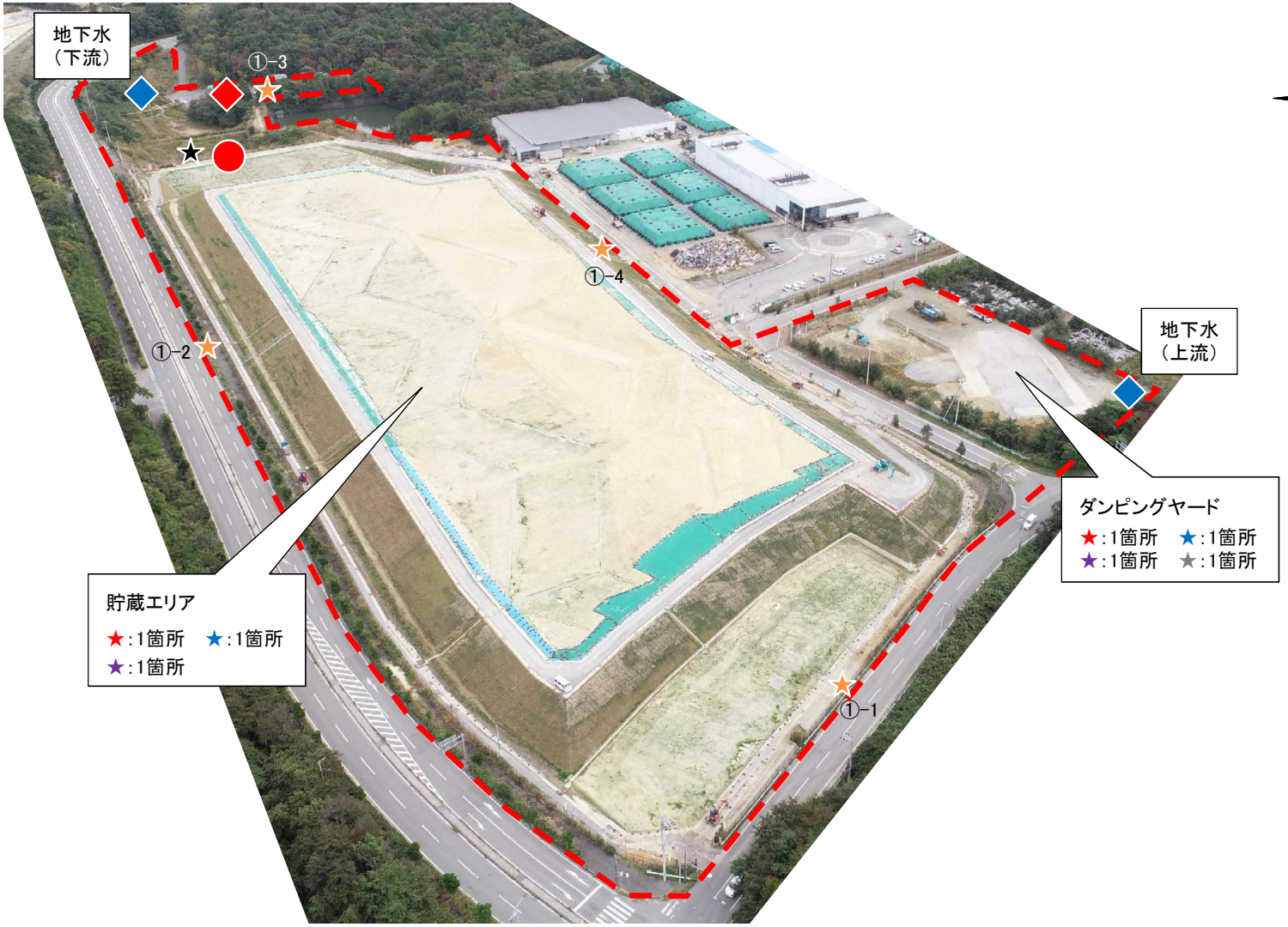
放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定地点（月次測定）

（4頁参照）■



☆:施設の位置

【 凡例 】

- ◆ ： 地下水（井戸）中の電気伝導率等、放射能濃度
- ● ： 地下水（集排水設備）中の放射能濃度
- ◆ ： 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ ： 沈砂池からの放流水の浮遊物質量
- ■ ： 放流先河川の放射能濃度
- ★ ： 粉じん濃度
- ★ ： 空間線量率（作業環境）
- ★ ： 空気中の放射能濃度
- ★ ： 表面汚染密度（床）
- ★ ： 表面汚染密度（貯蔵施設境界）
- ---： 敷地境界線

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年1月

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/5/8 （稼働前）	61
	2023/1/5 （稼働後）	63
下流	2019/5/8 （稼働前）	18
	2023/1/5 （稼働後）	19

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	8.0
	2023/1/5 （稼働後）	11
下流	2019/5/8 （稼働前）	10
	2023/1/5 （稼働後）	10

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2023/1/5 （稼働後）	ND	ND
	2023/1/12 （稼働後）	ND	ND
	2023/1/19 （稼働後）	ND	ND
	2023/1/26 （稼働後）	ND	ND
下流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2023/1/5 （稼働後）	ND	ND
	2023/1/12 （稼働後）	ND	ND
	2023/1/19 （稼働後）	ND	ND
	2023/1/26 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/21 （稼働前）	ND	ND
2023/1/25 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日 ＼ 測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2023/1/5	7.7	2	60	3

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD管理値：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2023/1/5	ND	ND
2023/1/12	ND	ND
2023/1/19	ND	ND
2023/1/26	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値	濁度 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m^3)
2023/1/5 ～2023/1/24	4	0.0	0.0	ND	100.4

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日 ＼ 測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2023/1/5	4

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 （稼働前）	ND	ND
2023/1/5 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	粉じん濃度 (mg/m^3)
ダンピングヤード	2023/1/5 （稼働後）	ND
貯蔵エリア	2023/1/5 （稼働後）	ND

定量下限値：0.1mg/m^3、高濃度粉じんの下限値：10mg/m^3

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2023/1/5 （稼働後）	0.36
貯蔵エリア	2023/1/5 （稼働後）	0.23

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/cm^3)	Cs-137 (Bq/cm^3)
ダンピングヤード	2023/1/5 （稼働後）	ND	ND
貯蔵エリア	2023/1/5 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値： セシウム134： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$、セシウム137： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm^3]の限度：セシウム134の濃度／2×10^{-3}+セシウム137の濃度／3×10^{-3}≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界）

測定地点			測定日 ＼ 測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm^2)
貯蔵施設境界		①-1	2023/1/5 （稼働後）	ND
		①-2	2023/1/5 （稼働後）	ND
		①-3	2023/1/5 （稼働後）	ND
		①-4	2023/1/5 （稼働後）	ND
ダンピングヤード	床		2023/1/5 （稼働後）	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.63 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm^2

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年12月

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/5/8 （稼働前）	61
	2022/12/13 （稼働後）	53
下流	2019/5/8 （稼働前）	18
	2022/12/13 （稼働後）	21

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	8.0
	2022/12/13 （稼働後）	10
下流	2019/5/8 （稼働前）	10
	2022/12/13 （稼働後）	9.0

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/12/1 （稼働後）	ND	ND
	2022/12/8 （稼働後）	ND	ND
	2022/12/15 （稼働後）	ND	ND
	2022/12/22 （稼働後）	ND	ND
	2022/12/27 （稼働後）	ND	ND
下流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/12/1 （稼働後）	ND	ND
	2022/12/8 （稼働後）	ND	ND
	2022/12/15 （稼働後）	ND	ND
	2022/12/22 （稼働後）	ND	ND
	2022/12/27 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/21 （稼働前）	ND	ND
2022/12/12 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日 ＼ 測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2023/12/13	7.7	2	40	2

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD管理値：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/12/1	ND	ND
2022/12/8	ND	ND
2022/12/15	ND	ND
2022/12/22	ND	ND
2022/12/27	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値	濁度 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m^3)
2022/12/1 ～2022/12/27	25	0.0	0.0	ND	616.4

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日 ＼ 測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/12/13	12

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 （稼働前）	ND	ND
2023/12/13 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	粉じん濃度 (mg/m^3)
ダンピングヤード	2022/12/13 （稼働後）	ND
貯蔵エリア	2022/12/13 （稼働後）	ND

定量下限値：0.1mg/m^3、高濃度粉じんの下限値：10mg/m^3

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2022/12/13 （稼働後）	0.40
貯蔵エリア	2022/12/13 （稼働後）	0.23

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/cm^3)	Cs-137 (Bq/cm^3)
ダンピングヤード	2022/12/13 （稼働後）	ND	ND
貯蔵エリア	2022/12/13 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値： セシウム134： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$、セシウム137： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm^3]の限度：セシウム134の濃度／2×10^{-3}+セシウム137の濃度／3×10^{-3}≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界）

測定地点			測定日 ＼ 測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm^2)
貯蔵施設境界		①-1	2022/12/13 （稼働後）	ND
		①-2	2022/12/13 （稼働後）	ND
		①-3	2022/12/13 （稼働後）	ND
		①-4	2022/12/13 （稼働後）	ND
ダンピングヤード	床		2022/12/13 （稼働後）	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.63 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm^2

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年11月

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/5/8 （稼働前）	61
	2022/11/11 （稼働後）	61
下流	2019/5/8 （稼働前）	18
	2022/11/11 （稼働後）	17

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	8.0
	2022/11/11 （稼働後）	10
下流	2019/5/8 （稼働前）	10
	2022/11/11 （稼働後）	8.0

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/11/3 （稼働後）	ND	ND
	2022/11/10 （稼働後）	ND	ND
	2022/11/17 （稼働後）	ND	ND
	2022/11/24 （稼働後）	ND	ND
下流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/11/3 （稼働後）	ND	ND
	2022/11/10 （稼働後）	ND	ND
	2022/11/17 （稼働後）	ND	ND
	2022/11/24 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/21 （稼働前）	ND	ND
2022/11/14 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日 ＼ 測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/11/11	7.5	4	67	5

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD管理値：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/11/3	ND	ND
2022/11/10	ND	ND
2022/11/17	ND	ND
2022/11/24	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m^3)
		最小値	最大値		
2022/11/1 ～2022/11/30	59	0.0	0.0	ND	1605.7

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日 ＼ 測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/11/11	6

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 （稼働前）	ND	ND
2022/11/11 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	粉じん濃度 (mg/m^3)
ダンピングヤード	2022/11/11 （稼働後）	0.2
貯蔵エリア	2022/11/11 （稼働後）	0.1

定量下限値：0.1mg/m^3、高濃度粉じんの下限値：10mg/m^3

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2022/11/11 （稼働後）	0.42
貯蔵エリア	2022/11/11 （稼働後）	0.25

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/cm^3)	Cs-137 (Bq/cm^3)
ダンピングヤード	2022/11/11 （稼働後）	ND	ND
貯蔵エリア	2022/11/11 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値： セシウム134： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$、セシウム137： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm^3]の限度：セシウム134の濃度／2×10^{-3}+セシウム137の濃度／3×10^{-3}≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界）

測定地点		測定日 ＼ 測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm^2)
貯蔵施設境界	①-1	2022/11/11 （稼働後）	ND
	①-2	2022/11/11 （稼働後）	ND
	①-3	2022/11/11 （稼働後）	ND
	①-4	2022/11/11 （稼働後）	ND
ダンピングヤード	床	2022/11/11 （稼働後）	ND

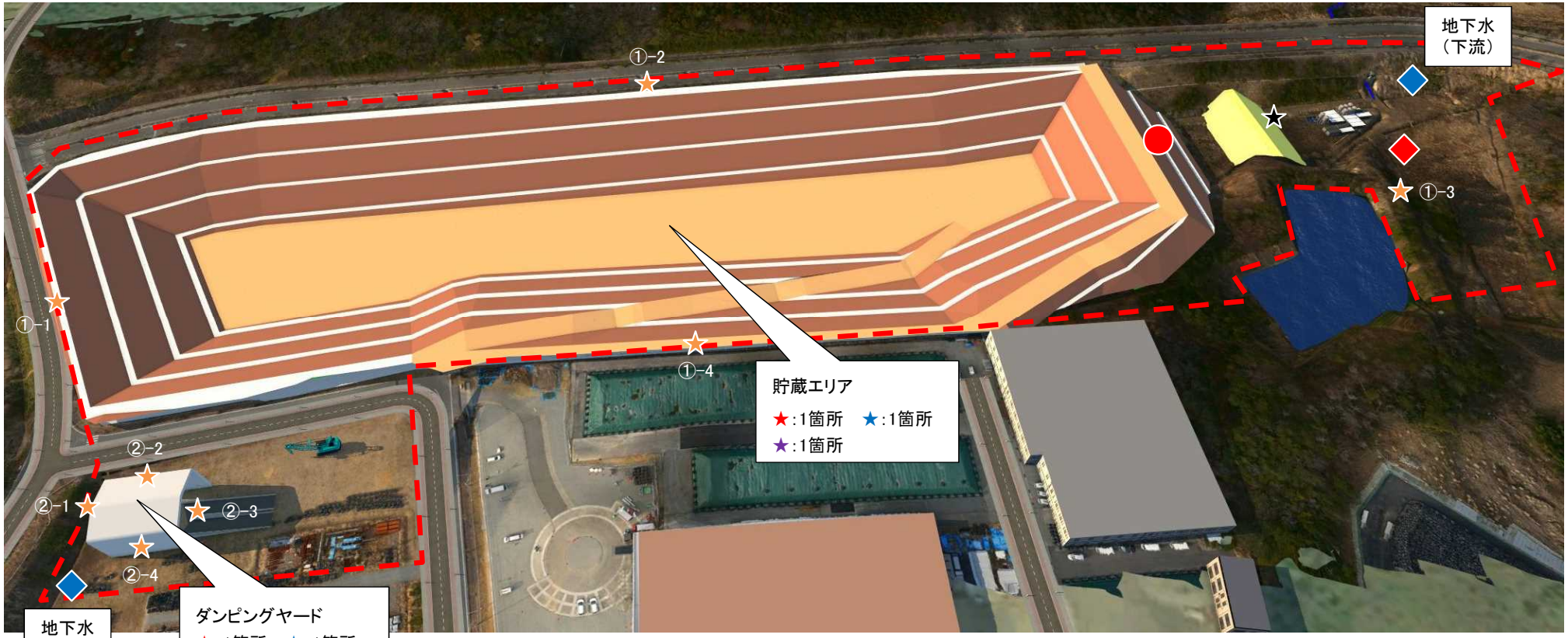
表面汚染密度検出下限値： 0.63 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

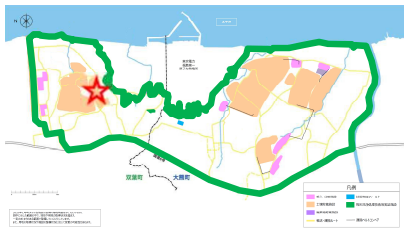
限度：40Bq/cm^2

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定地点（月次測定）2022年10月

■（2頁参照）



☆：施設の位置



【 凡例 】

- ◆：地下水（井戸）中の電気伝導率等、放射能濃度
- ●：地下水（集排水設備）中の放射能濃度
- ◆：浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★：沈砂池からの放流水の浮遊物質量
- ■：放流先河川の放射能濃度
- ★：粉じん濃度
- ★：空間線量率（作業環境）
- ★：空気中の放射能濃度
- ★：表面汚染密度（床）
- ★：表面汚染密度（貯蔵施設境界・壁）
- ★：表面汚染密度（設備）
- ---：敷地境界線

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年10月

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定日＼測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/5/8 （稼働前）	61
	2022/10/3 （稼働後）	81
下流	2019/5/8 （稼働前）	18
	2022/10/3 （稼働後）	22

測定地点	測定日＼測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	8.0
	2022/10/3 （稼働後）	11
下流	2019/5/8 （稼働前）	10
	2022/10/3 （稼働後）	9.0

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/10/6 （稼働後）	ND	ND
	2022/10/13 （稼働後）	ND	ND
	2022/10/20 （稼働後）	ND	ND
	2022/10/27 （稼働後）	ND	ND
下流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/10/6 （稼働後）	ND	ND
	2022/10/13 （稼働後）	ND	ND
	2022/10/20 （稼働後）	ND	ND
	2022/10/27 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/21 （稼働前）	ND	ND
2022/10/3 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日＼測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/10/3	7.6	ND	58	1

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD管理値：90mg/L，SS基準：60mg/L

生物化学的酸素要求量（BOD）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/10/6	ND	ND
2022/10/13	ND	ND
2022/10/20	ND	ND
2022/10/27	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m^3)
		最小値	最大値		
2022/10/3 ～2022/10/26	21	0.0	0.0	ND	577.8

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日＼測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/10/31	6

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 （稼働前）	ND	ND
2022/10/3 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日＼測定項目	粉じん濃度 (mg/m^3)
ダンピングヤード	2022/10/3 （稼働後）	0.1
貯蔵エリア	2022/10/3 （稼働後）	0.1

定量下限値：0.1mg/m^3、高濃度粉じんの下限値：10mg/m^3

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日＼測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2022/10/3 （稼働後）	0.30
貯蔵エリア	2022/10/3 （稼働後）	0.25

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/cm^3)	Cs-137 (Bq/cm^3)
ダンピングヤード	2022/10/3 （稼働後）	ND	ND
貯蔵エリア	2022/10/3 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値： セシウム134： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$、セシウム137： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm^3]の限度：セシウム134の濃度／2×10^{-3}+セシウム137の濃度／3×10^{-3}≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備）

測定地点			測定日＼測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm^2)
貯蔵施設境界		①-1	2022/10/3 （稼働後）	ND
		①-2	2022/10/3 （稼働後）	ND
		①-3	2022/10/3 （稼働後）	ND
		①-4	2022/10/3 （稼働後）	ND
ダンピングヤード	壁	②-1	2022/10/3 （稼働後）	ND
		②-2	2022/10/3 （稼働後）	ND
		②-3	2022/10/3 （稼働後）	ND
		②-4	2022/10/3 （稼働後）	ND
	床		2022/10/3 （稼働後）	ND
	設備	トラックホッパー	2022/10/3 （稼働後）	ND

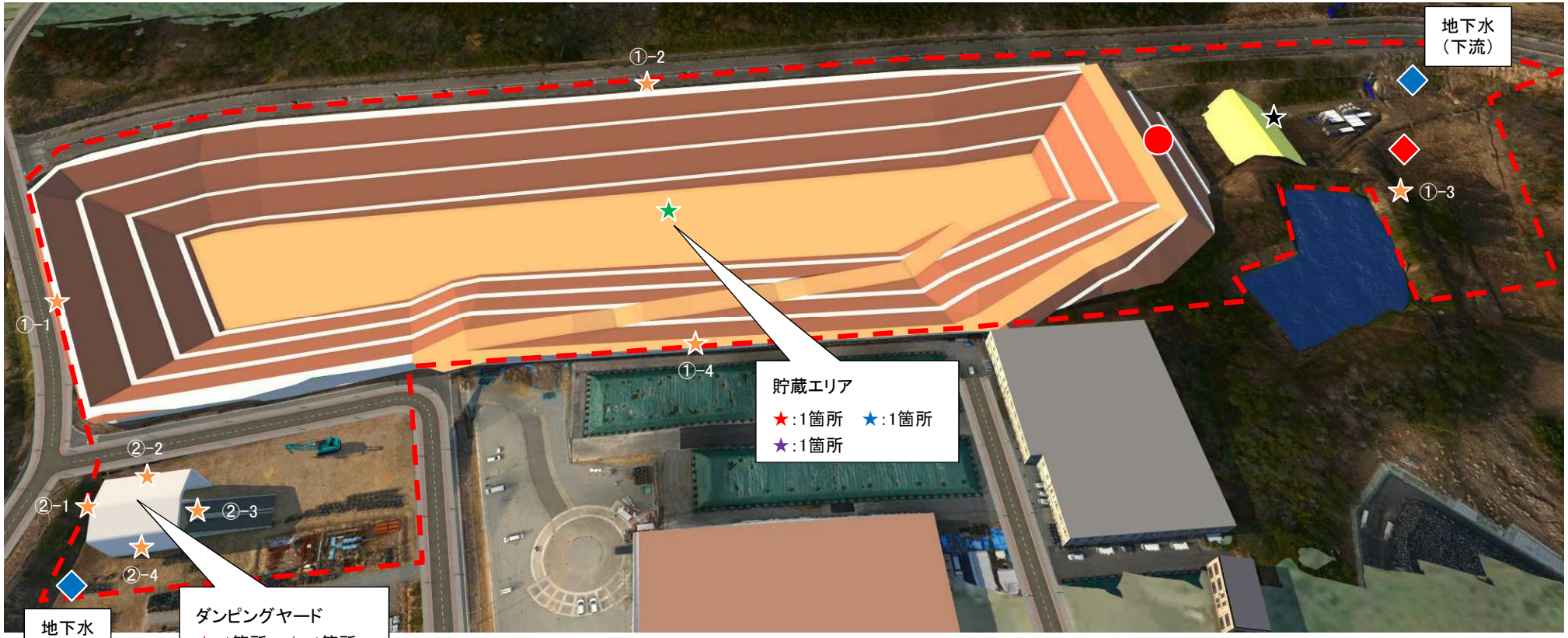
表面汚染密度検出下限値： 0.63 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

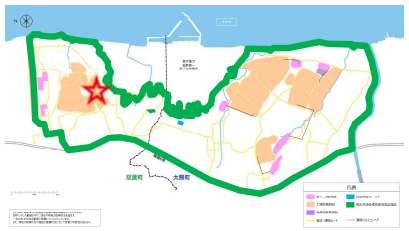
限度：40Bq/cm^2

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定地点（月次測定）2022年6月～9月

■（2頁参照）



☆：施設の位置



【 凡例 】

- ◆：地下水（井戸）中の電気伝導率等、放射能濃度
- ★：沈砂池からの放流水の浮遊物質量
- ★：空間線量率（作業環境）
- ★：表面汚染密度（貯蔵施設境界・壁）
- ---：敷地境界線
- ●：地下水（集排水設備）中の放射能濃度
- ■：放流先河川の放射能濃度
- ★：空気中の放射能濃度
- ★：表面汚染密度（設備）
- ◆：浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★：粉じん濃度
- ★：表面汚染密度（床）
- ★：表面汚染密度（重機）

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年9月

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/5/8 （稼働前）	61
	2022/9/12 （稼働後）	69
下流	2019/5/8 （稼働前）	18
	2022/9/12 （稼働後）	18

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	8.0
	2022/9/12 （稼働後）	10
下流	2019/5/8 （稼働前）	10
	2022/9/12 （稼働後）	8.0

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/9/1 （稼働後）	ND	ND
	2022/9/8 （稼働後）	ND	ND
	2022/9/15 （稼働後）	ND	ND
	2022/9/22 （稼働後）	ND	ND
	2022/9/29 （稼働後）	ND	ND
下流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/9/1 （稼働後）	ND	ND
	2022/9/8 （稼働後）	ND	ND
	2022/9/15 （稼働後）	ND	ND
	2022/9/22 （稼働後）	ND	ND
	2022/9/29 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/21 （稼働前）	ND	ND
2022/9/12 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日 ＼ 測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/9/12	7.3	1	58	12

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD管理値：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/9/1	ND	ND
2022/9/8	ND	ND
2022/9/15	ND	ND
2022/9/22	ND	ND
2022/9/29	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値	濁度 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m^3)
2022/9/1 ～2022/9/30	30	0.0	0.0	ND	800.1

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日 ＼ 測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/9/12	10

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 （稼働前）	ND	ND
2022/9/12 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	粉じん濃度 (mg/m^3)
ダンピングヤード	2022/9/12 （稼働後）	0.2
貯蔵エリア	2022/9/12 （稼働後）	ND

定量下限値：0.1mg/m^3、高濃度粉じんの下限値：10mg/m^3

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2022/9/12 （稼働後）	0.30
貯蔵エリア	2022/9/12 （稼働後）	0.25

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/cm^3)	Cs-137 (Bq/cm^3)
ダンピングヤード	2022/9/12 （稼働後）	ND	ND
貯蔵エリア	2022/9/12 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値： セシウム134： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$、セシウム137： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm^3]の限度：セシウム134の濃度／2×10^{-3}+セシウム137の濃度／3×10^{-3}≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点			測定日 ＼ 測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm^2)
貯蔵施設境界		①-1	2022/9/12 （稼働後）	ND
		①-2	2022/9/12 （稼働後）	ND
		①-3	2022/9/12 （稼働後）	ND
		①-4	2022/9/12 （稼働後）	ND
ダンピングヤード	壁	②-1	2022/9/12 （稼働後）	ND
		②-2	2022/9/12 （稼働後）	ND
		②-3	2022/9/12 （稼働後）	ND
		②-4	2022/9/12 （稼働後）	ND
	床		2022/9/12 （稼働後）	ND
	設備	トラックホッパー	2022/9/12 （稼働後）	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ	2022/9/12 （稼働後）	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.63 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm^2

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年8月

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定日＼測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/5/8 （稼働前）	61
	2022/8/1 （稼働後）	85
下流	2019/5/8 （稼働前）	18
	2022/8/1 （稼働後）	20

測定地点	測定日＼測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	8.0
	2022/8/1 （稼働後）	10
下流	2019/5/8 （稼働前）	10
	2022/8/1 （稼働後）	9.0

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/8/4 （稼働後）	ND	ND
	2022/8/10 （稼働後）	ND	ND
	2022/8/18 （稼働後）	ND	ND
	2022/8/25 （稼働後）	ND	ND
下流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/8/4 （稼働後）	ND	ND
	2022/8/10 （稼働後）	ND	ND
	2022/8/18 （稼働後）	ND	ND
	2022/8/25 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/21 （稼働前）	ND	ND
2022/8/1 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日＼測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/8/1	7.3	2	67	8

pH基準：5.8～8.6 , BOD基準：60mg/L , COD管理値：90mg/L , SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/8/4	ND	ND
2022/8/10	ND	ND
2022/8/18	ND	ND
2022/8/25	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m^3)
		最小値	最大値		
2022/8/1 ～2022/8/31	31	0.0	0.0	ND	854

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日＼測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/8/1	4

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 （稼働前）	ND	ND
2022/8/1 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日＼測定項目	粉じん濃度 (mg/m^3)
ダンピングヤード	2022/8/1 （稼働後）	0.1
貯蔵エリア	2022/8/1 （稼働後）	0.2

定量下限値：0.1mg/m^3、高濃度粉じんの下限値：10mg/m^3

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日＼測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2022/8/1 （稼働後）	0.26
貯蔵エリア	2022/8/1 （稼働後）	0.24

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/cm^3)	Cs-137 (Bq/cm^3)
ダンピングヤード	2022/8/1 （稼働後）	ND	ND
貯蔵エリア	2022/8/1 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値： セシウム134： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$、セシウム137： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm^3]の限度：セシウム134の濃度／2×10^{-3}+セシウム137の濃度／3×10^{-3}≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点			測定日＼測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm^2)
貯蔵施設境界		①-1	2022/8/1 （稼働後）	ND
		①-2	2022/8/1 （稼働後）	ND
		①-3	2022/8/1 （稼働後）	ND
		①-4	2022/8/1 （稼働後）	ND
ダンピングヤード	壁	②-1	2022/8/1 （稼働後）	ND
		②-2	2022/8/1 （稼働後）	ND
		②-3	2022/8/1 （稼働後）	ND
		②-4	2022/8/1 （稼働後）	ND
	床		2022/8/1 （稼働後）	ND
	設備	トラックホッパー	2022/8/1 （稼働後）	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ	2022/8/1 （稼働後）	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.63 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm^2

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年7月

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/5/8 （稼働前）	61
	2022/7/12 （稼働後）	99
下流	2019/5/8 （稼働前）	18
	2022/7/12 （稼働後）	19

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	8.0
	2022/7/12 （稼働後）	11
下流	2019/5/8 （稼働前）	10
	2022/7/12 （稼働後）	8.0

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/7/7 （稼働後）	ND	ND
	2022/7/14 （稼働後）	ND	ND
	2022/7/21 （稼働後）	ND	ND
	2022/7/28 （稼働後）	ND	ND
下流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/7/7 （稼働後）	ND	ND
	2022/7/14 （稼働後）	ND	ND
	2022/7/21 （稼働後）	ND	ND
	2022/7/28 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/21 （稼働前）	ND	ND
2022/7/12 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日 ＼ 測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/7/12	7.1	ND	61	17

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD管理値：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/7/7	ND	ND
2022/7/14	ND	ND
2022/7/21	ND	ND
2022/7/28	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値	濁度 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m^3)
2022/7/1 ～2022/7/28	35	0.0	0.0	ND	930.6

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日 ＼ 測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/7/12	6

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 （稼働前）	ND	ND
2022/7/12 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	粉じん濃度 (mg/m^3)
ダンピングヤード	2022/7/12 （稼働後）	ND
貯蔵エリア	2022/7/12 （稼働後）	0.1

定量下限値：0.1mg/m^3、高濃度粉じんの下限値：10mg/m^3

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2022/7/12 （稼働後）	0.29
貯蔵エリア	2022/7/12 （稼働後）	0.34

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/cm^3)	Cs-137 (Bq/cm^3)
ダンピングヤード	2022/7/12 （稼働後）	ND	ND
貯蔵エリア	2022/7/12 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値： セシウム134： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$、セシウム137： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm^3]の限度：セシウム134の濃度／2×10^{-3}+セシウム137の濃度／3×10^{-3}≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点			測定日 ＼ 測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm^2)
貯蔵施設境界		①-1	2022/7/12 （稼働後）	ND
		①-2	2022/7/12 （稼働後）	ND
		①-3	2022/7/12 （稼働後）	ND
		①-4	2022/7/12 （稼働後）	ND
ダンピングヤード	壁	②-1	2022/7/12 （稼働後）	ND
		②-2	2022/7/12 （稼働後）	ND
		②-3	2022/7/12 （稼働後）	ND
		②-4	2022/7/12 （稼働後）	ND
	床		2022/7/12 （稼働後）	ND
	設備	トラックホッパー	2022/7/12 （稼働後）	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ	2022/7/12 （稼働後）	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.63 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm^2

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年6月

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/5/8 （稼働前）	61
	2022/6/3 （稼働後）	68
下流	2019/5/8 （稼働前）	18
	2022/6/3 （稼働後）	15

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	8.0
	2022/6/3 （稼働後）	9.0
下流	2019/5/8 （稼働前）	10
	2022/6/3 （稼働後）	8.0

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/6/2 （稼働後）	ND	ND
	2022/6/9 （稼働後）	ND	ND
	2022/6/16 （稼働後）	ND	ND
	2022/6/23 （稼働後）	ND	ND
	2022/6/30 （稼働後）	ND	ND
下流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/6/2 （稼働後）	ND	ND
	2022/6/9 （稼働後）	ND	ND
	2022/6/16 （稼働後）	ND	ND
	2022/6/23 （稼働後）	ND	ND
	2022/6/30 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/21 （稼働前）	ND	ND
2022/6/3 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日 ＼ 測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/6/3	7.6	4	45	3

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD管理値：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/6/2	ND	ND
2022/6/9	ND	ND
2022/6/16	ND	ND
2022/6/23	ND	ND
2022/6/30	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値	濁度 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m^3)
2022/6/1 ～2022/6/29	84	0.0	0.0	ND	2351.1

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日 ＼ 測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/6/3	26

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 （稼働前）	ND	ND
2022/6/3 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	粉じん濃度 (mg/m^3)
ダンピングヤード	2022/6/3 （稼働後）	ND
貯蔵エリア	2022/6/3 （稼働後）	ND

定量下限値：0.1mg/m^3、高濃度粉じんの下限値：10mg/m^3

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2022/6/3 （稼働後）	0.27
貯蔵エリア	2022/6/3 （稼働後）	0.39

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/cm^3)	Cs-137 (Bq/cm^3)
ダンピングヤード	2022/6/3 （稼働後）	ND	ND
貯蔵エリア	2022/6/3 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値： セシウム134： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$、セシウム137： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm^3]の限度：セシウム134の濃度／2×10^{-3}+セシウム137の濃度／3×10^{-3}≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点			測定日 ＼ 測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm^2)
貯蔵施設境界		①-1	2022/6/3 （稼働後）	ND
		①-2	2022/6/3 （稼働後）	ND
		①-3	2022/6/3 （稼働後）	ND
		①-4	2022/6/3 （稼働後）	ND
ダンピングヤード	壁	②-1	2022/6/3 （稼働後）	ND
		②-2	2022/6/3 （稼働後）	ND
		②-3	2022/6/3 （稼働後）	ND
		②-4	2022/6/3 （稼働後）	ND
	床		2022/6/3 （稼働後）	ND
	設備	トラックホッパー	2022/6/3 （稼働後）	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ	2022/6/3 （稼働後）	ND
		ブルドーザー	2022/6/3 （稼働後）	ND

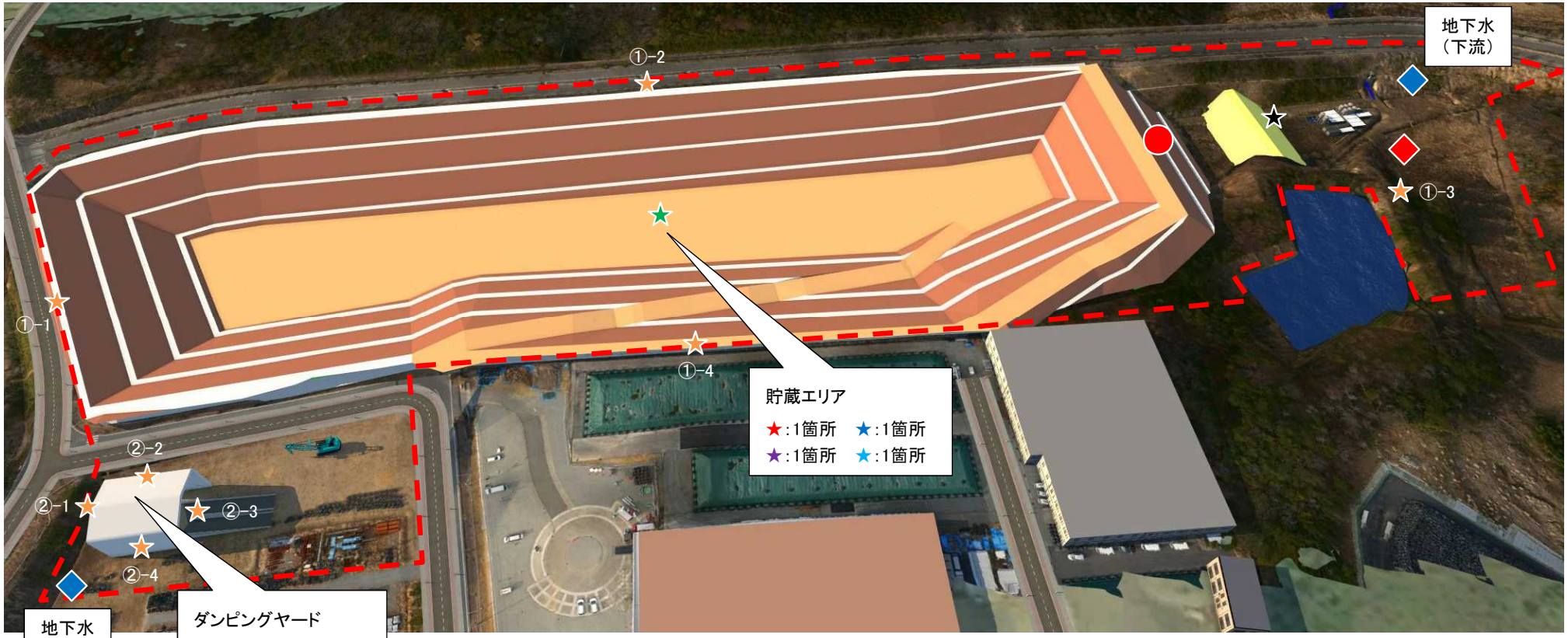
表面汚染密度検出下限値： 0.63 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

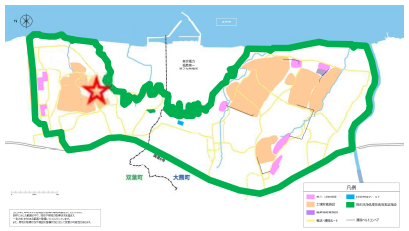
限度：40Bq/cm^2

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定地点（月次測定）2022年4月、5月

■（2頁参照）



☆：施設の位置



【 凡例 】

- ◆：地下水（井戸）中の電気伝導率等、放射能濃度
- ★：沈砂池からの放流水の浮遊物質量
- ★：空間線量率（作業環境）
- ★：表面汚染密度（貯蔵施設境界・壁）
- ---：敷地境界線
- ●：地下水（集排水設備）中の放射能濃度
- ■：放流先河川の放射能濃度
- ★：空気中の放射能濃度
- ★：表面汚染密度（設備）
- ◆：浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★：粉じん濃度
- ★：表面汚染密度（床）
- ★：表面汚染密度（重機）

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年5月

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/5/8 （稼働前）	61
	2022/5/11 （稼働後）	86
下流	2019/5/8 （稼働前）	18
	2022/5/11 （稼働後）	17

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	8.0
	2022/5/11 （稼働後）	10
下流	2019/5/8 （稼働前）	10
	2022/5/11 （稼働後）	16

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/5/6 （稼働後）	ND	ND
	2022/5/12 （稼働後）	ND	ND
	2022/5/19 （稼働後）	ND	ND
	2022/5/26 （稼働後）	ND	ND
下流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/5/6 （稼働後）	ND	ND
	2022/5/12 （稼働後）	ND	ND
	2022/5/19 （稼働後）	ND	ND
	2022/5/26 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/21 （稼働前）	ND	ND
2022/5/11 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日 ＼ 測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/5/11	7.4	4	58	13

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD管理値：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/5/6	ND	ND
2022/5/12	ND	ND
2022/5/19	ND	ND
2022/5/26	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m^3)
		最小値	最大値		
2022/5/2 ～2022/5/31	67	0.0	0.0	ND	1897.3

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日 ＼ 測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/5/11	4

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 （稼働前）	ND	ND
2022/5/11 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	粉じん濃度 (mg/m^3)
ダンピングヤード	2022/5/11 （稼働後）	ND
貯蔵エリア	2022/5/11 （稼働後）	ND

定量下限値：0.1mg/m^3、高濃度粉じんの下限値：10mg/m^3

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2022/5/11 （稼働後）	0.27
貯蔵エリア	2022/5/11 （稼働後）	0.70

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日 ＼ 測定項目	Cs-134 (Bq/cm^3)	Cs-137 (Bq/cm^3)
ダンピングヤード	2022/5/11 （稼働後）	ND	ND
貯蔵エリア	2022/5/11 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値： セシウム134： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$、セシウム137： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm^3]の限度：セシウム134の濃度／2×10^{-3}+セシウム137の濃度／3×10^{-3}≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点		測定日 ＼ 測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm^2)
貯蔵施設境界	①-1	2022/5/11 （稼働後）	ND
	①-2	2022/5/11 （稼働後）	ND
	①-3	2022/5/11 （稼働後）	ND
	①-4	2022/5/11 （稼働後）	ND
ダンピングヤード	壁 ②-1	2022/5/11 （稼働後）	ND
	壁 ②-2	2022/5/11 （稼働後）	ND
	壁 ②-3	2022/5/11 （稼働後）	ND
	壁 ②-4	2022/5/11 （稼働後）	ND
	床	2022/5/11 （稼働後）	ND
	設備 トラックホッパー	2022/5/11 （稼働後）	ND
貯蔵エリア	設備 法面ベルトコンベア	2022/5/11 （稼働後）	ND
	重機 バックホウ	2022/5/11 （稼働後）	ND
	重機 ブルドーザー	2022/5/11 （稼働後）	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.63 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm^2

土壌貯蔵施設（双葉②工区）における
周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年4月

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定日＼測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/5/8 （稼働前）	61
	2022/4/7 （稼働後）	73
下流	2019/5/8 （稼働前）	18
	2022/4/7 （稼働後）	15

測定地点	測定日＼測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	8.0
	2022/4/7 （稼働後）	9.0
下流	2019/5/8 （稼働前）	10
	2022/4/7 （稼働後）	8.0

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/4/7 （稼働後）	ND	ND
	2022/4/14 （稼働後）	ND	ND
	2022/4/21 （稼働後）	ND	ND
	2022/4/28 （稼働後）	ND	ND
下流	2019/5/8 （稼働前）	ND	ND
	2022/4/7 （稼働後）	ND	ND
	2022/4/14 （稼働後）	ND	ND
	2022/4/21 （稼働後）	ND	ND
	2022/4/28 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/21 （稼働前）	ND	ND
2022/4/8 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日＼測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/4/7	7.9	2	37	3

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD管理値：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2022/4/7	ND	ND
2022/4/14	ND	ND
2022/4/21	ND	ND
2022/4/28	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m^3)
		最小値	最大値		
2022/4/1 ～2022/4/28	60	0.0	0.0	ND	1700

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日＼測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2022/4/7	5

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 （稼働前）	ND	ND
2022/4/7 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日＼測定項目	粉じん濃度 (mg/m^3)
ダンピングヤード	2022/4/7 （稼働後）	0.1
貯蔵エリア	2022/4/7 （稼働後）	0.1

定量下限値：0.1mg/m^3、高濃度粉じんの下限値：10mg/m^3

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日＼測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2022/4/7 （稼働後）	0.26
貯蔵エリア	2022/4/7 （稼働後）	0.74

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日＼測定項目	Cs-134 (Bq/cm^3)	Cs-137 (Bq/cm^3)
ダンピングヤード	2022/4/7 （稼働後）	ND	ND
貯蔵エリア	2022/4/7 （稼働後）	ND	ND

放射能濃度検出下限値： セシウム134： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$、セシウム137： 1.0 $\times10^{-7}Bq/cm^3$

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm^3]の限度：セシウム134の濃度／2×10^{-3}+セシウム137の濃度／3×10^{-3}≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点		測定日＼測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm^2)
貯蔵施設境界		①-1 2022/4/7 （稼働後）	ND
		①-2 2022/4/7 （稼働後）	ND
		①-3 2022/4/7 （稼働後）	ND
		①-4 2022/4/7 （稼働後）	ND
ダンピングヤード	壁	②-1 2022/4/7 （稼働後）	ND
		②-2 2022/4/7 （稼働後）	ND
		②-3 2022/4/7 （稼働後）	ND
		②-4 2022/4/7 （稼働後）	ND
	床	2022/4/7 （稼働後）	ND
	設備	トラックホッパー 2022/4/7 （稼働後）	ND
貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア 2022/4/7 （稼働後）	ND
	重機	バックホウ 2022/4/7 （稼働後）	ND
		ブルドーザー 2022/4/7 （稼働後）	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.63 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm^2